

## 2024年を振り返って①

大内 千秋

今年1年の活動を振り返って1番印象深かった事は、ホツとの研修旅行を引率した事だ。旅行の為に毎月2,000円の積み立てをしているが、コロナ禍での自粛期間もあり、積立金がだいぶ溜まっていた、こういう機会でもなければ、行く事の出来ない所へお連れしたい、利用者さんは、なかなか自分の思い通りにでかける事が出来ないし、行動範囲が限られてしまうため、世界が狭まってしまう。見たことのない景色を見たり、おいしい食べ物を食べたり、そういった体験をし、視野を広げてもらいたい、その思いで引率した。東京は、人ゴミ、とにかく歩く、何にで待つと、八雲で生活しては経験で出来ない環境。旅行代理店の方には、歩く事、人ごみは覚悟して下さい。リュックは前に背負う、携帯はひもを付けてと言われていた。行く前からそのことは利用者さんへ周知していて、覚悟の上で臨んだはずだったが、想像以上に大変だったと思う。足の不自由は方もいて、心配もしたが、相当頑張ってくれました。

また、タクシーの運転手に北海道から来たと言うと、食べ物がおいしい、自然が豊かと褒められたり、じゃがバターが600円、ホタテのバター焼きが1500円と金額に驚いたり、自分の住んでいる地域のすばらしさに気づいたり当たり前が、当たり前ではない事に気付いた。この度の旅行が今までの自分の価値観を変えたり、気づきになれば良いと思う。

テレビでよく見る、スカイツリーやレインボーブリッジ、東京駅等を実際に見れたり、オープンバスのはとバスに乗れたり、大変な事もあったが楽しい3日間となった。私はこの旅を通じて、利用者さんと寝食を共にして、普段の関わりでは見られない面を見られ、より理解につながり、私にとってもとても良い経験になった。





# ファインだより



2024年12月2日 第19号  
NPO 法人やくも元気村

今年も残り1か月となりましたね。これからはクリスマスにお正月と子どもたちにとって楽しいイベントが続きます。風邪も引きやすい時期ですので、体調には十分気を付けて楽しい年末年始をお過ごしください。



## ハロウィン

10/31にシンフォニーへ行ってお菓子をもらって来ました！玄関を出るとルンルンで歩き、終始笑顔でした。シンフォニーの利用者さんからお菓子を受け取り、挨拶も丁寧にできました！食べる時は、みんなでお菓子をテーブルに広げてにやにやが止まらない様子でした😊

棒倒しゲーム



シンフォニー交流

## 室内活動

シンフォニー交流日は、いつもと違う雰囲気子どもたちは興奮気味になり、話しかけてくても自分からはできずもどかしそうにしています。活動を通して少しずつでもお話ができるようになっていくなと見守っています😊

風船ボール



新聞紙棒倒し

紙コップ鉄砲



かぼちゃ団子



ペーパーチーズパン



## おやつ作り

おやつ作りは慎重に行わなければならない場面がたくさんあり、指導員からストップがかかることもしばしばありますが、材料を入れるときにこぼさないようそっと入れたり、作っている最中につまみ食べせず我慢していたり。少しずつではありますが取り組む姿勢が変わってきていることを頼もしく思います😊



ワインナーロール

**12月の予定**

12月25日(水)  
クリスマス会

年末年始休業のため、  
12月28日～1月5日  
までお休みさせていただきます。



# 2024年を振り返って②

松草 太陽

放課後等デイサービスファインが2年目に入りました。私も現場に入って子ども達と関わる頻度が増えました。その中で子供たちの状況や課題に対してのアプローチを考えられるようになってきた。児童から成人まで長く関わっていく重要さを感じました。顔の見える関係性が重要だなと感じる。現在法人として、児童から成人の各ライフステージにおいての支援、サービスの提供が出来るようになった。児童部門はファイン。成人の就労支援はシンフォニー。今年7月からは不登校児童支援のりらくすもスタートした。

今年、ファイン2年目にしてシンフォニーとファインの相乗効果を意識した取り組みを出て来るようになった。具体的にはシンフォニーの利用者とファイン児童との交流を週1で行っている。児童の笑顔やシンフォニー利用者の笑顔を眺めていると交流日の役割は決して小さくないと感じる。職員もファインとシンフォニーでもっと行き来できるともっとお互いの利用者支援にとってになれるのかなとも思う。

来年度はりらくすとの相乗効果を意識した取り組みをしていきたい。現在は不登校の児童が居場所を目的として利用しているが、シンフォニーとファインがあることの利点を活かしていない部分を改善していきたい。

※ファインのインスタアカウントを作成しました。活動の様子を投稿していきますので、フォローのほどよろしくお願いいたします。



HOUKAGODAYFAIN



## 利用状況について

2024年12月現在

○八雲シンフォニー  
合計46名

○ぐるーぷほーむ"ホット"  
合計16名(内サテライト2名)

○えがお  
合計59名

○ファイン  
児童 5名

## シンフォニー公式LINEの開始(引き続きのお知らせ)

「元気村ジャーナルを月1回配信をしていきます」  
公式LINEにて配信を考えておりますので、是非皆様ご登録の程よろしくお願いいたします。  
また、ホームページにも掲載致しますので、LINEをしていない方はそちらをご覧くださいと思います。  
※元々発行していた、元気村通信が元気村ジャーナルにリニューアルしました。



公式LINEのQRコード



HPのQRコード

# 2024年を振り返って③

山崎 愛

今年は、とにかくバザーが多い1年だったという印象。毎週土日がバザーという月もあるくらいだった。コロナ禍では、全くバザーに参加できない期間が長く続き、利用者さんも地域の方と触れ合う機会としてとても楽しみにされているので、久しぶりのバザーラッシュはみんなにとっても、有意義な1年になったのではないかと感じる。

バザーは、利用者さんが作業で作ったもの(小物・飲食)を、対面で販売し直接お客さまの反応が見られたり、会話をしながら販売したりと、施設外の方と触れ合える貴重な機会なので、普段作業中には見られない新たな一面を発見できる場でもある。ただ物を売るだけではなく、おしゃれをしてきたり仮装を試みたり、意外とノリノリなところがあったり、みんなのいきいきしている様子に触れることができ、職員の私たちも見ていてとてもうれしい気持ちになる。バザーの売上は、すべて利用者さんの工賃になるので、目に見えてお金を稼いでいる感覚を体験できることは、みんなにとって作業のモチベーションにもつながっていると感じている。自分で作ったものが売れた時の、みんなの喜ぶ顔がいつも印象的。売れたら、また作らないと！と前向きな気持ちになってくれている。

私の中で、特に印象に残っているバザーがある。夏に行われた、“山車行列村×エコ広場バザー”だ。山車行列40周年の記念で、1週間限定のお祭り村が遊楽部公園に登場し、そのうちの2日間で防災とエコのイベントが同時開催された時のバザーに参加させてもらった。会場には、ボランティアスタッフとして全国からたくさんの方が集まり、利用者さんが滅多に経験することのできない町外の人と関わる機会にもなった。

このバザーで初めての試み。シンフォニーは、ライブキッチン形式でハンバーガーショップをオープンした。事前に利用者さんと内容を相談し、ポップや包装用のシールを作業で作成してもらったり、ハンバーガーに何をはさもうかと話し合ったり、、、初めて作るもので、価格は強気の1個600円、売れる保証もない、どんな客層かもよくわからない中で、攻めたワクワクするバザーだった。4種類のメニュー(2日間で200個)を用意し見事完売！！シンフォニーのバザーは、いつもなら作って包装したものを会場に持っていき販売という形をとっている。今回のように、現地で作って出来立てを販売するのは初めてだった。温かく出来立てを提供するスタイルは、手間もかからずお客さまも出来立てで嬉しい、といういいことづくめだった。参加された利用者さんも、注文が入るたびに嬉しそうにハンバーガーを作ってくれていた。シンフォニーまつりでも、ハンバーガーショップをやりたいと言ってくれていた。新しいことに消極的でも、やってみて成功した経験になると作業の幅も広がる。

ちょっとしたことだが、このように小さな成功体験をたくさん経験して、ワクワクすることに臆病なみんなが、少しずつでも楽しいことや新しいことに挑戦することに対して、積極的になっていってくれたら嬉しい。

2025年も、みんながワクワクする1年を過ごせますように、、、♡

